

医療のデジタル化

事務局長

たかはし ひでゆき
高橋 英行



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。
新しい年となりましたので、現在進められる「医療DX」についてご説明したいと思います。

いきなり「DX」と言われても何のことなのか分からないと思いますので、先ず、言葉の説明をしたいと思います。「DX」とは、「デジタルトランスフォーメーション」の略称で、「デジタル技術によって、仕事や社会、生活の形・スタイルを変え、生活を豊かにしていく」という意味です。これには業務自体をデジタル化していくというニュアンスも含まれております。「医療DX」となれば、保健・医療・介護（疾病の発症予防、受診、診察・治療・薬剤処方、診断書等の作成、地域医療連携など）において発生する情報やデータを、保健・医療や介護関係者が使用している業務システムの共通化・標準化を図り、国民自身の予防を推進し、より良質な医療やケアを受けられるように、社会や生活の形を変えることを意味しております。

「医療DX」が推進される背景には、「少子高齢化」が進む日本において、保健・医療情報の利活用を積極的に推進することは重要であり、また、次の感染症危機において迅速に対応可能な体制を構築しておくことが急務であることからです。

では、具体的に皆さんに関わることでは、マイナンバーカードを用いた「オンライン資格確認システム」（健康保険証などの確認）があります。当院では既に運用開始しておりますが、実は、令和5年4月から医療機関や薬局に対して「オンライン資格確認」を導入することが原則として義務付けられております。また、マイナンバーカードを用いて政府が提供している「マイナポータル」において診療、薬剤、医療費などの情報を確認することも可能となっております。

その他、この1月から「電子処方せん」が始まりました。「電子処方せん」とは、これまで紙だった「処方せん」を電子化したものを言い、薬剤情報を共有することにより重複投薬の回避も可能となります。

このような取組から、自らの健康維持・増進、医療の効率的かつ効果的な提供により診療の質の向上や治療等の最適化が推進されることが可能となり、これが「医療DX」の一部となります。

最後になりますが、令和5年も富山ろうさい病院らしいパフォーマンスを発揮して地域医療、魚津市民の健康を守るため出来る事を鋭意努力していきたいと考えております。

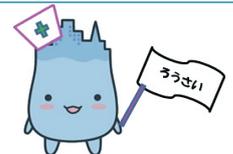


富山ろうさい病院では、毎月、魚津市ケーブルテレビ「NICE-TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：1月1日～1月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「前立腺がんについて」（出演者）泌尿器科医師 木村 想



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>